

患者さんへ

「泌尿器科疾患に対する低侵襲手術の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2011年11月より2034年7月までに当院泌尿器科で低侵襲手術を受けた/受ける患者さん 低侵襲手術とは、身体への負担が少なく、患者さんのQOL(Quality of Life:生活の質)を向上させる手術です。内視鏡やカテーテルなどの医療機器を用いて、痛みや発熱、出血などの合併症をできるだけ少なくすることを目的としています。
2 研究目的・方法	泌尿器科疾患における低侵襲手術の安全性と制癌性(再発や転移の有無)などの検討を目的とし、診療録等の通常の診療で得られた情報を用いて行います。 研究の期間:施設院長許可(2024年8月予定)後~2034年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、手術前の病理結果、腫瘍マーカー、術前病期、手術時間、出血量、術後病理結果、再発の有無、合併症の有無など。 泌尿器科が扱う臓器(副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺)における腹腔鏡下手術、ロボット支援手術、経尿道的手術、経皮的内視鏡下手術。
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 秋田英俊(研究責任者)・名古屋徳洲会総合病院・泌尿器科、部長 住所:春日井市高蔵寺町北2-52 連絡先:0568-51-8711